

ふるさと歴史探究プロジェクト「高校生学芸員」

浜田の歴史を再発見！高校生学芸員の挑戦

ふるさと歴史探究プロジェクトは、高校生にもっと「ふるさとの歴史を知ってほしい」、そして「学んだ成果を多くの人に伝えてほしい」という思いで企画しました。

文化のかおるまちづくりを目指している浜田市にとって、若い人に歴史や文化への興味や関心を持ってもらうことは大きな課題となっています。

そこでHAMADA教育魅力化コンソーシアムでは、浜田市教育委員会との協働し、高校生を募集し、応募のあった高校生を浜田城資料館の高校生学芸員として委嘱しました。

高校生学芸員の任務

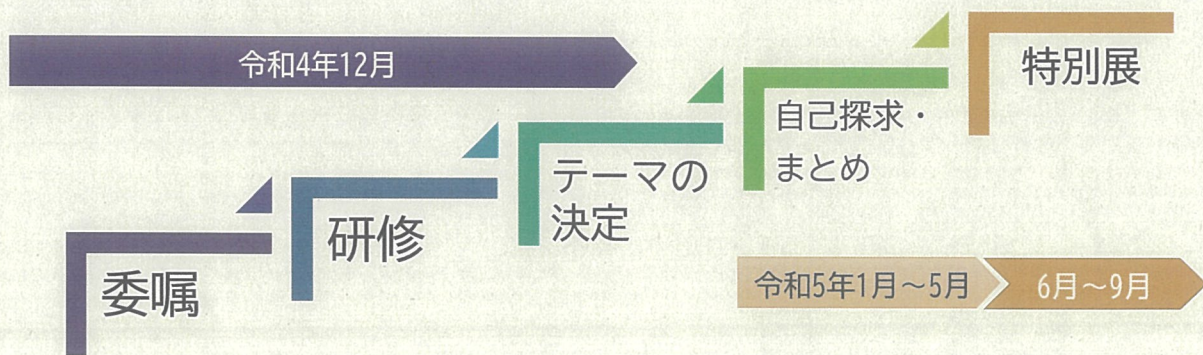
浜田城や北前船をはじめとした浜田の歴史について、浜田市の専門職員や専門家と相談しながら調査、研究を行う。

HAMADA教育魅力化コンソーシアムが主催する研修、フィールドワークに参加する。

調査、研究した成果をレポートや映像としてまとめ、浜田城資料館の企画展示として発表する。

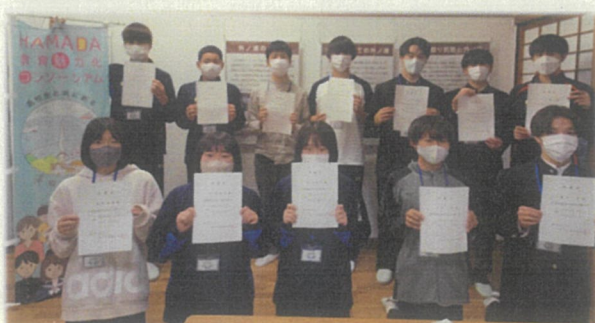


プロジェクト スケジュール



《委嘱状の交付》

令和4年12月10日（土）に委嘱状交付式を行い、市内の高等学校に通う高校生12人を高校生学芸員として委嘱しました。

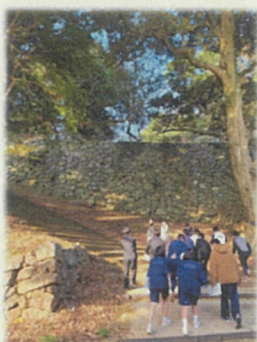


高校名	学年	人数
浜田高等学校	2年生	4人
	2年生	4人
浜田商業高等学校	1年生	3人
	1年生	1人
浜田水産高等学校	1年生	1人
合計		12人

令和4年12月（経過報告）

《研修① 令和4年12月10日（土）》

浜田城と外ノ浦に関する基本的な知識を習得するため、第1回研修会を開催しました。浜田市教育委員会の学芸員による講義を受けた後、浜田城をより深く理解するためのフィールドワークを実施しました。



《研修② 令和4年12月26日（月）》

江戸時代から明治時代にかけて北前船の寄港地として栄えた外ノ浦を学ぶフィールドワークを実施しました。研修計画では、島根県立浜田水産高等学校の全面協力のもと、練習船を使った海上での研修を行う予定でしたが、波が高かったため、浜田市教育委員会の学芸員によるガイド付きのフィールドワークに変更し、高校生学芸員は、金刀比羅神社や日和山方角石を見学しました。



《テーマの決定（研修③） 令和4年12月27日（火）》

テーマ検討会では、これまでの研修などで疑問や関心を持ったことについて、洗い出し、グループワーク等を通じて、自身の調査・研究テーマを決定し、発表しました



決定した研究テーマ	学校・学年・構成
現代の技術と浜田城(建設費用試算)	浜田商業1年 2人
浜田城落城への道のり	浜田高校2年 1人
浜田藩と他の藩との繋がり	浜田高校2年 1人
北前船と浜田の発展	浜田高校2年 1人
外ノ浦で流通した商品と地域との交流	浜田高校2年 1人
北前船の物流と他藩との繋がり	浜田商業2年 2人
外ノ浦について映像で紹介(動画作成)	浜田商業2年 2人
南蛮人(宣教師)が見た浜田城	浜田商業1年 1人
攻防戦からみる浜田城の姿	浜田水産1年 1人

令和5年1月～5月（経過報告）

《研修④ 令和5年2月25日（土）》

高校生学芸員に文化財を守り伝えるという博物館の役割や、伝えようとしている人たちの思いを知ってもらうため、浜田郷土資料館において収蔵文化財に直接触れ、資料の保管の様子、何に気を配り、どう扱うのか、を学ぶ研修を実施しました。



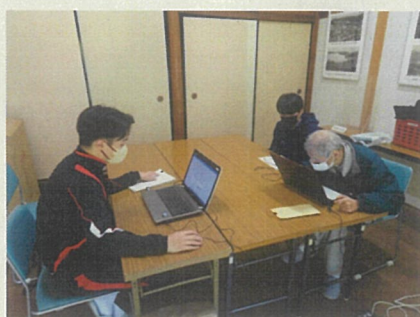
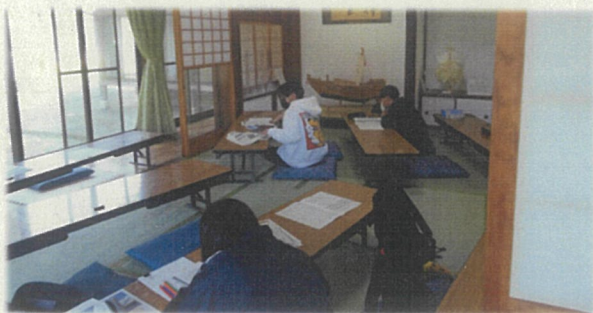
《個別相談会 令和5年3月18日（土）、令和5年4月22日（土）》

3月18日（土）の個別相談会では、6月の特別展で実際に展示するパネルのレイアウトについて説明を受けた後、テーマごとに専門家（市の学芸員）による進捗状況の確認や研究内容のまとめに向けた個別相談を実施しました。

4月22日（日）の個別相談会では、高校生が作成してきたパネル原稿の案に対して、専門家による具体的なアドバイスを行いました。

なお、当日参加できなかった高校生学芸員に対しては、別日にて個別に対応しました。

高校生学芸員は、こまでの研修やフィールドワークで得た知識や個別相談会での助言を基に個人探究を進め、特別展に展示するための最終原稿を仕上げました。



いざ！高校生学芸員の研究成果特別展（6/10～9/24）へ